

EUIとEUIJ東京コンソーシアムの学術交流協定調印

2007年1月13日、津田塾大学において、EUIとEUIJ東京コンソーシアムの協定が調印されました。調印式は、多くの来賓の前で滞りなく終了し、協定書が調印されました。イヴ・メニィ（EUI学長）、坂内 徳明（一橋大学副学長）、鈴木 典比古（国際基督教大学学長）、池端 雪浦（東京外国語大学学長）、飯野 正子（津田塾大学学長）、辰野裕一（文部科学省審議官（高等教育局担当））の6名が挨拶のスピーチを行いました。また、来賓の中には、木村 崇之（前EU大使EUIJ会長）、長崎 泰裕（NHK報道局記者・キャスター）、植田隆子（ICU教授）といった方々が含まれていました。

EUI (European University Institute) は1972年にEC構成国によって設立された高度な教育研究を行うための機関で、経済学、歴史・文明学、法学、政治・社会科学の4学部とロベール・シューマン・センター、ヨーロッパ法学院、EU歴史文書館、図書館等の附属機関によって構成されています。欧州内の各大学から選ばれた教員スタッフのもとで、1-4年の大学院教育を行う大学院大学で、院生は欧州内の各大学から選抜されます。従来、欧州中心であった受け入れ対象を欧州以外にも拡大する一環として、このたびEUIJ Tokyoとの間で学術交流協定を結ぶことになりました。これにより、EUIコンソーシアム大学からも大学院生、研究所員、教員がEUIを訪問してその施設を利用することや、EUIから短期の集中講義を行う教員を招聘することなどが可能となります。EUIは社会科学系に限らず人文科学系の教員も充実しており、その意味からも交流の発展が期待されます。